

# これが10・24大量暴行拉致事件の真相だ!

恐るべき暴力、被害者22名  
臨調粉碎斗争への敵対、自治委員会破壊を許すな！

12:00～

2コマ目の授業に潜入していた暴力集団約20名（相当数の学外者を含むものと見られる）が講義終了と同時に、赤ヘル・露面姿になって、自治委員会の準備にはいろいろとした学生に暴行を加えて外に押し出す。

暴力集団は①地点の階段上に並んで入口を封鎖し、ハンドマイクで「自治委員会粉碎」を叫び、同僚会名で同内容のビラをまく。自治委員会に集まつた学友とともに、C自常任委員が抗議すると、襲いかかってきて殴る蹴るの暴行を加える。

12:40

30分以上対峙するが暴力学生が封鎖を解かず、暴行をくり返すため、C自常任委員会はA141教室での開催が危険と判断して会場を、理学部B-P-1教室に変更することを決定し、ビラをまく。直後に暴力集団は一勢にC自常任委員会代表■君（2J）に襲いかかり、暴行を加えたあげく、①地点にひきずりこみ監禁する。②地点に残つた学友が、何度も救出を試みるが、入口のスクランプを破れず失敗に終わる。そのためごとに■君は③④の地点をひきずりまわされる。

13:05

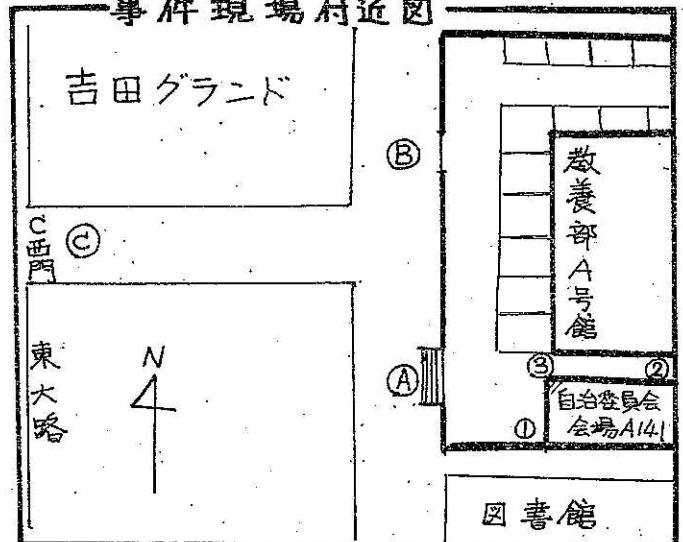
暴力集団が隊列を整えて、■君を連れたままA号館廊下をかけぬけ、⑤の入口から外に連れ出そうとする。⑥地点に待ちかまえていた学友が、暴力集団の行方をうさぎ、もみ合いの後■君の救出に成功。スクランプを組みながら退却する学友に向かって暴力集団は数度にわたって襲いかかり、20名以上の学友が殴られる。この時、■君（3S）の前歯が二本折れ、などの負傷者が続出。その数は22名に及び、うち現在判明しているだけでも7名が病院で治療を受けている。被害総額は、治療費、メガネの修復代、服代など、20万円程度と推定されている。暴力集団は、⑦地点まで暴行を加えながら這いついた。以上が10・24事件の大要である。

犯行グループは、赤ヘルメットを約40人。全員がかぶり、中には多数の学外者  
が居た模様。

								福島
5	2	3	3	5	2	4		P
A	A	S	A	T	S	上		

次に掲げる者は、犯行グループのうち、も名のわかる者たちです。

事件現場付近図



〔病院で治療を受けた被患者〕(一部)

(2J)	(3P)
(3S)	(3S)
(3S)	(3S)
	(3S)

ドキュメント10・24事件

教養部自治会常任委員会 自由協